

『大阪の街道』神野清秀著 松籟社 1989

\*ID 0070001834

『京街道』大沢研一著 都島区役所編

都島区役所 2003 \*ID 0010548354

『京街道：大阪・高麗橋～京都・伏見宿：

東海道五十七次から五十四次を歩く』

上方史蹟散策の会編 向陽書房 2002

ID 0010255710

WEB「おおさか資料室」→「大阪に関するよくある質問」  
→「都島区」「京街道について」

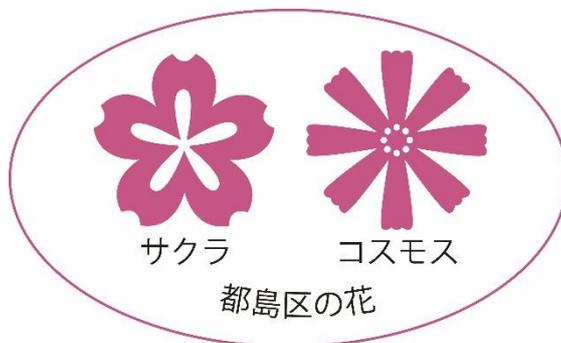
調べかたガイド:各区版  
**都島区の調べかた**

都島区の史跡・名勝・建築—毛馬閘門—

都島区の人物・伝説—与謝蕪村—

都島区の民俗・文化—鶴(めえ)塚—

都島区を知る—京街道—



この調べかたガイドでは、都島区をテーマに4つのトピックを選び出し、それについて調べるのに役立つ情報源を、わかりやすく紹介しています。

ID : 大阪市立図書館の「書誌 ID」(お問い合わせの際にお伝えください)

都島図書館に所蔵しているものは、IDの前に\*をつけて表示しています。( \*の無いものも所蔵館から取り寄せできます。)

小学生から読めるものは ID 番号の後に  オムリンマークをつけています。

WEB : 大阪市立図書館のホームページ

紹介した資料やホームページなどは一例です。  
図書館ホームページ「おおさか資料室」や各館のページにも「よくある質問」や区に関する資料のリストを掲載しています。

より詳しくお知りになりたいときは、図書館のカウンターへご相談ください。図書館司書がお手伝いします。

## 大阪市立都島図書館

〒530-0027 大阪市都島区中野町2-16-25

TEL 06-6354-3229

<https://www.oml.city.osaka.lg.jp>

開館時間 火～金曜日(第3木曜日は休館)

10:00～19:00

土・日曜日、祝・休日、7/21～8/31の月曜日

10:00～17:00

休館日 ●月曜日、第3木曜日(祝・休日は開館)

7/21～8/31の月曜日は開館

●年末年始 ●蔵書点検期間

## 都島区の調べかた

Ver. 3 2023.10改訂

都島区の史跡・名勝・建築—毛馬<sup>こうもん</sup>閘門—

1885(明治18)年の水害をきっかけにした淀川改修計画をもとに、旧淀川への流量調節のため、新淀川の開削とともに都島区内の淀川分流点に造られたのが毛馬閘門と洗堰です。洗堰は1910(明治43年)、閘門は1907(明治40)年に第1閘門、1918(大正7)年に第2閘門が竣工しました。

『大阪春秋 132号 水の都おおさか』

新風書房 2008 \*ID 0011736572

『蕪村さんの都島歴史漫遊記:改訂-まんが-』

谷川桜太郎脚本・画 大阪市都島区役所 2019

\*ID 0015024017 

『都島区史』大阪都市協会編集 都島区制五十年記念事業実行委員会 1993

\*ID 0000336170

『淀川百年史』建設省近畿地方建設局 1974

\*ID 0000244962

『運河と閘門 -水の道を支えたテクノロジー-』久保田稔[ほか]編・著 日刊建設工業新聞社

2011 \*ID 0012349131

WEB「おおさか資料室」→「大阪に関するよくある質問」→「都島区」『毛馬の水門・閘門について』

毛馬閘門



WEB「デジタルアーカイブ」→「簡易検索」『毛馬閘門』で検索→「毛馬閘門」『大阪名勝絵はがき』より

## 都島区の人物・伝説—与謝蕪村—

与謝蕪村は、1716(享保元)年都島区毛馬の生まれとされていますが、その他の詳しいことは残念ながらあまりわかりません。有名な新形式の詩「春風馬堤曲(しゅんぷうばていのきょく)」は、毛馬の川堤を思う切々たる哀愁のうたとして知られています。

『大阪春秋 85号 与謝蕪村』大阪春秋社 1996

\*ID 0000587011

『なにわを築いた人々:大阪学講座』大阪市/大阪

都市協会/編 大阪市 1992 \*ID 0070034930

『蕪村さんの都島歴史漫遊記:改訂-まんが-』谷川

桜太郎脚本・画 大阪市都島区役所 2019

\*ID 0015024017 

『与謝蕪村』田中善信著 吉川弘文館 1996

\*ID 0000577752

『与謝蕪村(俳人芭蕉・蕪村・一茶を知ろう)』高村

忠範文・絵 汐文社 2007 \*ID 0011398487 

WEB「おおさか資料室」→「大阪に関するよくある質問」→「都島区」『与謝蕪村と都島区のかかわりについて』

区の民俗・文化—<sup>ぬえづか</sup>鶴塚—

鶴とは、頭がサル、胴はタヌキ、尾はへび、手足はトラ、声はトラツグミに似ていたといわれます。1153(仁平(にんぴょう)3)年源三位頼政が、皇居に出没する化鳥を射止め、その遺骸をうつろ舟にのせ淀川に流し、ついに都島区の沢上江のなごさに漂着しました。里人はたたりを恐れ母恩(ぼおん)寺の住職に告げねんごろにとむらい、これを土中に埋めて鶴塚とした、という伝説です。

『大阪春秋 94号 おおさかの伝説』大阪春秋社

1999 \*ID 0000729429

『なにわ塚物語』近藤精一郎著 創芸出版 1981

\*ID 0070023139

『日本の伝説 8』角川書店 1976 \*ID 0070028938

大阪市:大阪港紋章について

<https://www.city.osaka.lg.jp/port/page/0000016593.html>

WEB「おおさか資料室」→「大阪に関するよくある質問」→

「都島区」『都島区内にある鶴(ぬえ)塚について知りたい』

## 都島区を知る—京街道—

京街道は、大阪の京橋と京都の伏見を結ぶ歴史ある街道で、その全長は38.5kmに及びます。豊臣秀吉による淀川左岸の文祿堤の構築によって成立しました。文祿堤は1594(文祿3)年に工事が開始された治水工事と軍用道路を兼ねた土木事業でした。その後大坂城、淀城、伏見城が築かれると、この大坂と伏見とを結ぶ最短路として、諸大名を動員した淀川左岸の築堤工事に伴う堤防道として誕生したのです。

(裏につづく)